

行く川のながれは絶えずして、 -
しかも本の水にあらず。よどみに浮ぶうたかたは、かつ消え
かつ結びて久しくとゞまることなし。世の中にある人とすみ
かと、またかくの如し。玉しきの都の中にむねをならべいら
かをあらそへる、たかきいやしき人のすまひは、代々を経て
盡きせぬものなれど、これをまことかと尋ねれば、昔ありし
家はまれなり。